

秋のアレルギー

特異的 IgE 抗体検査の測定意義

アレルギー性鼻炎や喘息などの気道アレルギー疾患では、原因アレルゲンを特定することが重要です。特異的 IgE 抗体検査は、問診と併せて活用することで原因アレルゲンの特定に役立ちます。

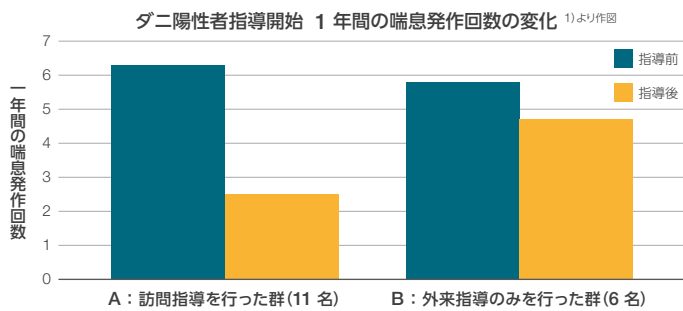
特に秋は花粉やダニ、ガなどの昆虫や、カビなどさまざまなアレルゲンが増加する時期です。原因を特定することで、注意すべき時期や投薬期間、除去・回避指導など個々の患者さんに適した治療方針を立てることができアドヒアランス向上へと繋がります。また、原因アレルゲンによっては免疫療法(スギ・ダニなど)など治療の選択肢が広がります。

診療においては、アトピー素因や感受アレルゲンの同定が不十分なまま治療が進められることも少なくありません。継続的なアレルゲンの暴露は症状のコントロール不良や難治化に関与することがあるため、適切な診断と治療を行うことが重要です。

監修 櫻井 大樹 先生 山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授



ダニアレルゲンの除去・回避による症状改善の効果



対象者: ネコ、イヌ、ブタクサ、アルテルナリア、アスペルギルス、カンジダ、スギに感作されていないダニ陽性患者 11名(A群)、6名(B群)

ダニアレルゲンの除去・回避などの環境改善指導は、喘息発作の抑制に効果的であると報告されています(左図)。このように原因アレルゲン特定により効果的な除去回避指導が可能となります。

医師が行った抗原回避指導¹⁾

A群の訪問指導は、毎月1回1年間、家庭訪問し下記の指導を行った
B群の外来指導は、外来受診時のみに下記の環境整備指導を行った

- 家族すべての布団カバーを週1回以上の洗濯
- 患者の寝具、寝室、リビングを週1回以上の掃除機掛け
- むいぐるみを置かない
- ペットを飼わない
- じゅうたんを外す。無理なら週1回以上の掃除機掛け

秋に注意が必要なアレルゲン(アレルゲンカレンダー)

秋は原因となるアレルゲンが多く、花粉に加えてガやゴキブリ、カビ、ダニなどのアレルゲンにも注意が必要です。原因となるアレルゲンが増加する時期を知るとは、効果的な対策と治療に繋がります。

	9月	10月	11月	12月
花粉	キク科・アサ科	ブタクサ・ヨモギ・カナムグラ など		
	イネ科	カモガヤ・オオアワガエリ など		
	樹木		スギ	
カビ	アルテルナリア・アスペルギルス・ペニシリウム・クラドスポリウム			
昆虫	ガ・ユスリカ			
室内塵	ゴキブリ・ダニ・ハウスダスト・ガ・イヌ・ネコ			

花粉 - 食物アレルギー症候群 (PFAS: pollen-food allergy syndrome)

花粉症に合併することの多い食物アレルギーです。花粉に感作した人が花粉と交差抗原性をもつ特定の食物を食べたとき、主に口腔症状(OAS: Oral Allergy Syndrome)を呈することがあります。原因は花粉の主要アレルゲンと果物などの食物に含まれているタンパク質の交差抗原性によるものです。関連する食物に対しては、診断にもとづいた適切な回避指導を行い、原因となる花粉が飛散する時期に発症・悪化するため花粉対策も重要となります。

花粉と関連性のある食物



主な症状

くちびる、舌、のどなどで起こるかゆみ、イガイガ、腫れ



昆虫(ガ・ゴキブリ)

ノシメダラメイガ(食品害虫)
食品害虫で食品から発生します。
成虫の大きさ 6~9mm
提供: 武蔵数野

ゴキブリ
台所のシンクの下などにいます。

衣蛾 - イガ(衣類害虫)
衣類や布団などをしまっておくクローゼットや押入れなどに発生します。
成虫の大きさ 4~6mm
提供: 東奥日報

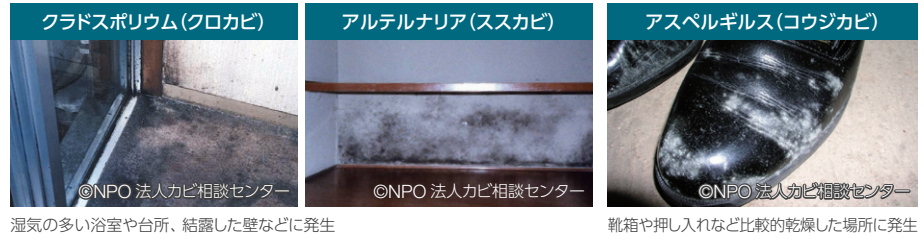
ガは、春から秋にかけて(特に秋に多く)屋内外で見られます。屋内では食品に発生するメイガ、動物性繊維を使用した衣類などに発生するイガ(衣蛾)が見られます。幼虫のフンや成虫の鱗粉(リンパ)、粉砕され微細化した死骸がアレルギーの原因となります。

ゴキブリは、夏に繁殖した虫体のフンや死骸が秋に増加しアレルギーの原因となります。

カビ(真菌)

湿気が多い浴室や台所、結露した壁、靴箱や押し入れなど比較的乾燥した場所など、生活環境に発生するカビの種類は湿度状態により異なります²⁾。また、環境中のカビアレルゲンは梅雨時期と秋に増加します²⁾。

原因となる主なカビ



湿気が多い浴室や台所、結露した壁などに発生

靴箱や押し入れなど比較的乾燥した場所に発生

参考文献 1) アレルギー-免疫 12, 60-65, 2005 2) アレルギー, 2005; 54: 531-535

【アレルギー検査指導箋】具体的な除去・回避指導用サポート資料のご紹介

弊社では、検査後の除去回避指導をサポートするために、指導箋をご用意しております。指導箋はA4サイズ・両面の10枚綴りの冊子となっており、1枚ずつ切り離して検査結果と共に患者さんに提供でき、指導の際にご活用いただけます。また、指導箋などのサポート資料は、以下のフォームからご注文いただけます。

アレルギー検査指導箋

資料 NO. 721
A4サイズ/10枚綴り



サポート資料注文フォームのご案内

View アレルギー39™の患者さん向け資料をご用意しております。URLもしくは二次元コード経由でも資料のご注文を承ります。必要事項をご入力の上お申し込みください。

thermofisher.com/shizai



画像リクエストフォームのご案内

View アレルギー39『ホームページ用画像』や『院内モニター用スライドショー』のご用意があります。URLもしくは二次元コードから専用フォームに必要事項を入力の上、送信してください。

thermofisher.com/pic



通年性ポスター

資料 NO. 520
A3サイズ
1ページ



小冊子

資料 NO. 050
B6サイズ
4ページ

専用の小冊子立てのご用意もあります。



データ提供の
お申し込み方法
最短3ステップ



リンクフリーでご利用いただける患者さん向けサイトもございます
thermofisher.com/39-jp

View アレルギー39は、秋にアレルゲン量が増加する花粉、昆虫、カビ、ダニや食物アレルゲンも含まれている検査です
検査センターへご依頼ください

View アレルギー39 測定項目一覧

吸入系・その他				食物系								
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1		イネ科 植物	カモガヤ オオワガエリ		卵	卵白 オボムコイド		豆類	大豆 ピーナッツ		
動物	ネコ皮膚 イヌ皮膚	 	雑草	ブタクサ ヨモギ	 	牛乳	ミルク		肉類	鶏肉、牛肉 豚肉	 	
昆虫	ガ ゴキブリ	 	真菌	アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ、マラセチア(属)	 	穀類	小麦 ソバ 米	 	魚類	マグロ、サケ サバ	 	
樹木	スギ、ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)		職業性	ラテックス		甲殻類	エビ カニ	 	その他	ゴマ		

青文字はアレルギー物質を含む食品の表示義務・推奨食品に関連する項目です

FALCO biosystems

Learn more at thermofisher.com/hcp-jp

thermo scientific

サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 住友不動産三田ファーストビル

✉ info-jp.idd@thermofisher.com